

書塾の仲間たち

第 258 回

南泰代美文字レッスン (三重県松阪市)



●書塾からひとこと●

三重県松阪市の徳和小学校の横に松阪ワークセンターがあり、私はそこで三十年以上講師を務めています。当初は県の施設で十八歳以上向けの勤労青少年講座でしたが、今は市の施設になりました。現在では生涯教育の場になり、二十代から八十代まで幅広い方が来てくださいます。また、学生も市外の方も習うことができるようになりました。

当教室では、最初は、座り方、鉛筆の持ち方から始め、「あいうえお」の練習をしっかりしてもらいます。それから、登竜門である「般若心経」に一時間半かけて取り組み、集中力を養います。二回目からは、百福・百喜・百寿を書いてもらい、その後、自由作品に進み、入会から半年を過ぎるころ、級への挑戦を勧めています。

以前論文でも発表しましたが、三十年間の生徒さんの一級取得を分析したところ、三年間で誰もが一級を取得することができることを見つけました。今では「三年間で必ず一級取得のできる南泰代美文字レッスンです」と自信を持って勧めています。上達の早い方は一年半から二年で一級を取得しています。その後、「かな」に取り組み始める方も増えています。

松阪市幸公民館は、幸小学校の敷地内にあり、コミュニティバスも通っています。午前中の教室なので市外の方も通っています。八十二歳・八十八歳の方も熱心に練習しており、生徒さんの模範になっています。

稽古の他に、歓迎会や食事会・ハロウィン・花見・いちご狩り・花火・あまごつりなど生徒さんとコミュニケーションを楽しむ、「楽」の教室を目指しています。

南泰代美文字レッスン 講師 南 泰代

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。



書道での成長

広島県熊野町立熊野第二小学校四年 市山 稀子



私は、小学二年生の時に書道教室に通い始めました。一つ上の友達にさそわれた時に、「楽しそう」「やってみよう」と思ったことがきっかけです。始めて習った文字は、「ペン」という文字でした。この文字は、全部で四画です。かんたんそうに見えて、書いてみるとバランスが取りづらく、カタカナを書くのはむずかしいと思いました。始めたころは、むずかしいけど楽しい気持ちがありました。一カ月たっても文字のバランスをとって上手に書けず、くやしくて泣いてしまったこともありました。けれど、教室に通う友達から「だいじょうぶだよ」「上手になってるよ」と声をかけてもらい、少しずつ自信がもてるようになりました。そしてがんばって練習をくりかえして先生から合かくをもらえた時、うれしかったことを今でもおぼえています。そのことがきっかけで、今は漢字の練習をがんばっています。

私には四つ下の妹がいます。家でこう筆の練習をしているとじやまになるので、「あっちにいった」と言ってけんかしたこともありましたが、今では妹も一緒に教室に通っています。今思うと、もしかしたら妹もやってみたかったのかもしれない。妹や教室の友達に負けられないように、これからたくさん文字を練習して、きれいな字が書けるようになりたいです。そして、先生に「上手に書けたね」と言ってもらえるように、もっともっとならばります。

私と書写書道 第258回



起筆と終筆

神奈川県横浜市立入船小学校六年 横山 明愛



私は、いつも起筆と終筆をきれいに書くことを心がけて取り組んでいます。一回書いてきれいに書けなかった所は何度も何度もくりかえして、うまく書けるまで自分で考えたりコツを先生にきいたりしながら書いています。

うまく書けるとなんだかとても良い気持ちになります。私は絵をかく時や勉強に取り組む時に集中することが多いので、習字を行う時も集中して字を書いています。集中して書けた時は、作品がとても良い仕上がりになり、学校でも何度か選ばれたことがあります。自分の書いた作品が選ばれた時はたくさん練習に取り組んできてよかったなと思います。習字を続けていくうちに、字を書くのが好きになって、学校の習字の時間が大好きになりました。

初めて日本武道館の書初め大会に行った時は、とても会場が広くてたくさんの方がいて、少しきんちょうしました。しかし、日本武道館で字を書くことはすごいんだなと思います、うれしくなりました。

書道をはじめたころよりもどんどんうまくなって、どんどん字を書くことが好きになってこれからは習字を続けたいなと思います。また日本武道館の大会に参加できるように、集中して書いていきたいです。